



## 腹腔鏡下結腸切除術を受ける患者様へ

		( / ~ / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / )	( / ~ / )	( / ~ / )	( / ~ / )		
		入院時～前日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5～6日目	手術後7～8日目	手術後9日目～退院	
<b>達成目標</b>		治療について心配なことや不明な点を主治医や看護師に伝えることができる 疾患、手術、麻酔について理解されている	痛みや気分の不快を主治医や看護師に伝えることができる 傷口からの出血が起こらない	しっかりと体を動かすことができる 痛い時や調子の悪いときに主治医や看護師に伝えることができる	腹部症状出現時や便秘時は報告ができる 退院後の生活について不安な事が主治医や看護師に伝えることができる 入院前と同じ日常生活ができる							
<b>治療処置など</b>	<b>処置</b>	手術前日 お腹の除毛をします お臍の処置をします	朝7時頃浣腸をします 深部静脈血栓予防の弾性ストッキングをはいていただきます。	創部に管がはいります 腰に痛み止めの管が入ります鼻に管が入ります 酸素をつけます 心電図モニターをつけます 深部静脈血栓予防のフットポンプを装着します 手術後は適宜血圧などを測ります	心電図モニターを外します 歩行状態にあわせてフットポンプを外します	ガーゼ交換をします 酸素を中止します	状態によって痛み止めの管をぬぎます	状態に応じて創部の管をのけます	→			
	<b>点滴</b>	手術前日 点滴を1本します	手術開始2時間前に持続点滴を開始します 手術室で抗生剤の点滴をします	抗生剤点滴(帰室6時間後)	3日間、朝・夕抗生剤の点滴をします 血栓予防のための皮下注射をします 術後1、3日目は21時、その他の日は9時と21時に実施します				術後5日目の朝 抜去します	術後7日目まで実施		
	<b>内服</b>	手術前日 14時と21時に下剤を飲みます	糖尿病・抗血栓薬以外の薬は内服してください	現在飲んでる薬は中止です 痛みが強い時は鎮痛剤を使用します				主治医の指示により内服が再開します				
<b>検査</b>			手術後に採血があります 手術室で胸部・腹部のレントゲン写真をとります	採血 胸・腹部のレントゲン写真		採血 胸・腹部のレントゲン写真				採血 腹部のレントゲン写真		
<b>安静度</b>	院内自由	トイレ歩行のみ可能です	ベット上安静です	トイレ歩行を開始します。管に気をつけて歩行してください (初回歩行時は看護師が付き添います)			制限はありません					
<b>食事</b>	医師の指示で治療食になります 手術前日は流動食です	手術6時間前から絶食です 手術2時間前から絶飲です	絶飲食です 	朝から水分が摂取ができます 昼から食事が開始になります(流動食)			特軟菜食主2 (3分粥)	手術後5日目 軟菜食5分粥 手術後6日目 軟菜食全粥	手術後7日目 普通食			
<b>排泄</b>		手術までに陰部をウォシュレットで洗浄してください できない場合は看護師に行います	手術中に尿の管をいれます				尿の管を抜きます	制限はありません				
<b>清潔</b>	入浴(洗髪もしてください)	洗面、歯磨きを済ませておいて下さい その後術衣に着替えます		モーニングケア 体を拭きます 寝衣をきかえます				術後5日目より洗髪が可能です		ガーゼがなくなれば入浴ができます		
<b>説明</b>	<b>看護師</b>	入院生活や手術前後の処置と経過について説明します 手術室の看護師より全身麻酔手術の説明があります ICUの看護師より入室の説明があります 承諾書・同意書・問診票を提出して下さい		創部に入った管の注意点を説明します							看護師が退院指導をします	
	<b>栄養士</b>	入院時に栄養状態を評価し、必要時栄養指導を行います										
	<b>薬剤師</b>	内服がある患者さんには薬剤師から内服についての確認があります			薬についての説明が必要な場合は訪問します							